

2026 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社コプロ・ホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 清川 甲介
 (コード：7059、東証プライム・名証プレミア)
 問 合 せ 先 取締役 管理本部長兼経営企画部長 松田 高志
 (TEL. 052-589-3065)

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 12 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 5 月 15 日に公表いたしました 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）及び通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

■GAAP 指標

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 27,500	百万円 900	百万円 670	百万円 436	円 銭 11.36
今 回 修 正 予 想 （ B ）	28,150	1,770	1,536	710	18.52
増 減 額 （ B - A ）	+650	+870	+866	+274	+7.16
増 減 率	+2.4%	+96.7%	+129.3%	+63.0%	+63.0%
（参考）前中間連結実績 （2026 年 3 月期）	16,980	1,481	1,480	935	24.52

■Non-GAAP 指標

	売上高	償却前 営業利益	のれん償却前 中間純利益	1 株当たり のれん償却前 中間純利益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 27,500	百万円 2,150	百万円 1,552	円 銭 40.49
今 回 修 正 予 想 （ B ）	28,150	2,990	1,790	46.70
増 減 額 （ B - A ）	+650	+840	+238	+6.21
増 減 率	+2.4%	+39.1%	+15.3%	+15.3%
（参考）前中間連結実績 （2026 年 3 月期）	16,980	1,739	1,021	26.76

（注）当社は、2025 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり中間純利益及びのれん償却前中間純利益を算定しております。

2. 2027 年 3 月期 通期連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

■GAAP 指標

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	57,000	3,000	2,550	1,658	43.25
今 回 修 正 予 想 （ B ）	57,650	3,875	3,426	1,660	43.31
増 減 額 （ B － A ）	+650	+875	+876	+2	+0.06
増 減 率	+1.1%	+29.2%	+34.4%	+0.2%	+0.1%
（参考）前通期連結実績 （2026 年 3 月期）	36,661	3,632	3,665	2,880	75.35

■Non-GAAP 指標

	売上高	償却前 営業利益	のれん償却前 当期純利益	1 株当たり のれん償却前 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	57,000	5,500	3,942	102.86
今 回 修 正 予 想 （ B ）	57,650	6,340	3,829	99.89
増 減 額 （ B － A ）	+650	+840	△113	△2.97
増 減 率	+1.1%	+15.3%	△2.9%	△2.9%
（参考）前通期連結実績 （2026 年 3 月期）	36,661	4,204	3,088	80.80

（注）当社は、2025 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益及びのれん償却前当期純利益を算定しております。

3. 連結業績予想の修正理由

2027 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間におきましては、主力である建設技術者派遣事業を中心にグループ技術者数の拡大が進むとともに、高い稼働率の維持および売上単価の伸長が寄与し、売上高は期初予想を上回る好調な推移となりました。利益面におきましては、売上高の上振れに加え、採用費等の販売費及び一般管理費の執行時期が下期へ期ズレしたことや、人件費や拠点関連費用が想定を下回ったこと等により、営業利益は第 1 四半期時点で第 2 四半期（中間期）予想を超過達成いたしました。

通期連結業績予想におきましては、下期の売上高は期初予想を据え置く一方、売上原価率の見直しに伴い売上総利益は期初予想を下回る見通しとなっております。しかしながら、販売費及び一般管理費につきましては、上期からの費用執行の期ズレを吸収するとともに、グループ全体でのコスト効率化を進めることで減少する見込みです。

これらの状況を総合的に勘案した結果、2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想及び通期連結業績予想につきまして、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間（当期）純利益、並びに Non-GAAP 指標である償却前営業利益も前回発表予想を上回る見通しとなったため、業績予想を上方修正することといたしました。

（注）本資料に記載している業績予想及び将来に関する内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により、予想数値と異なるものとなる可能性があります。

以 上